

**2014年3月期(118期)
第2四半期決算説明会資料**

**2013年11月5日
グンゼ株式会社**

説明内容

1. 2014年3月期 上期決算概要

2. セグメント別詳細

3. 2014年3月期 通期計画

第2四半期連結累計業績

単位:百万円、%

	2012年度 (13/3期) 2Q実績	2013年度 (14/3期) 2Q実績	対前年		利益率	
			増減額	増減率	2012年度 (13/3期)	2013年度 (14/3期)
売上高	63,313	69,523	6,209	9.8	-	-
営業利益	875	1,478	602	68.9	1.4	2.1
経常利益	751	1,969	1,218	162.2	1.2	2.8
当期純利益	195	802	607	311.3	0.3	1.2

1-2 今年度上期のポイント

- 電子部品事業・・・市況回復で大幅な業績改善
- アパレル事業・・・円安や海外労務費高騰の原価アップを吸収できず苦戦

機能ソリューション事業

(億円)	対前年	主な要因
売上高	58	◆プラスチック：原材料価格高騰の中、飲料や生活用品向け平板収縮フィルムは堅調 野菜向け防曇フィルムは天候不順で苦戦 ◆エンブラ：OA部材は印刷枚数抑制で苦戦するも、半導体向け部材が伸長 ◆電子部品：パソコン向けPCAPや半製品・フィルムが好調に推移 ※PCAP：透過型静電容量方式のタッチパネル
営業利益	7	

アパレル事業

(億円)	対前年	主な要因
売上高	1	円安や海外労務費高騰による輸入品の価格アップを吸収できず ◆インナー：主力のベーシック商品は引き続き苦戦 生産性向上による原価改善や固定費削減 ◆レッグ：プレーンストックキングや新トレンド(レギパン)は好調
営業利益	△4	

ライフクリエイティブ事業

(億円)	対前年	主な要因
売上高	2	◆不動産関連：つかしん(にしまち)のリニューアル効果により来街者・売上とも好調 ◆スポーツクラブ：サービス充実により会員数を増やし堅調
営業利益	1	

1-3. セグメント別 売上高・営業利益

(単位:百万円/%)

	売上高				営業利益				営業利益率	
	2012年度 (13/3期) 2Q実績	2013年度 (14/3期) 2Q実績	対前年		2012年度 (13/3期) 2Q実績	2013年度 (14/3期) 2Q実績	対前年		2012 年度	2013 年度
			増減額	増減率			増減額	増減率		
機能ソリューション	23,235	29,003	5,768	24.8	1,407	2,118	711	50.5	6.1	7.3
アパレル	33,969	34,080	111	0.3	837	453	△ 384	△ 45.9	2.5	1.3
ライフクリエイト	6,611	6,803	192	2.9	307	449	142	46.3	4.6	6.6
小計	63,817	69,886	6,069	9.5	2,552	3,021	469	18.4	4.0	4.3
全社・消去	-503	-362	141	-	-1,676	-1,542	134	-	-	-
合計	63,313	69,523	6,209	9.8	875	1,478	602	68.9	1.4	2.1

1-4 特別損益

(単位: 百万円)

	2012年度 (13/3期) 2Q実績	2013年度 (14/3期) 2Q実績	増減
退職給付数理差異償却	-1,300	-443	857
退職給付信託設定益	1,673	0	△ 1,673
退職給付関連計	373	-443	△ 816
固定資産処分計	-34	37	71
投資有価証券関連計	-537	0	537
その他特別損益	77	0	△ 77
特別損益合計	-120	-405	△ 285

■退職給付数理差異償却
→発生翌期から5年均等償却

1-5 財務状況、資産の増減要因

財務状況

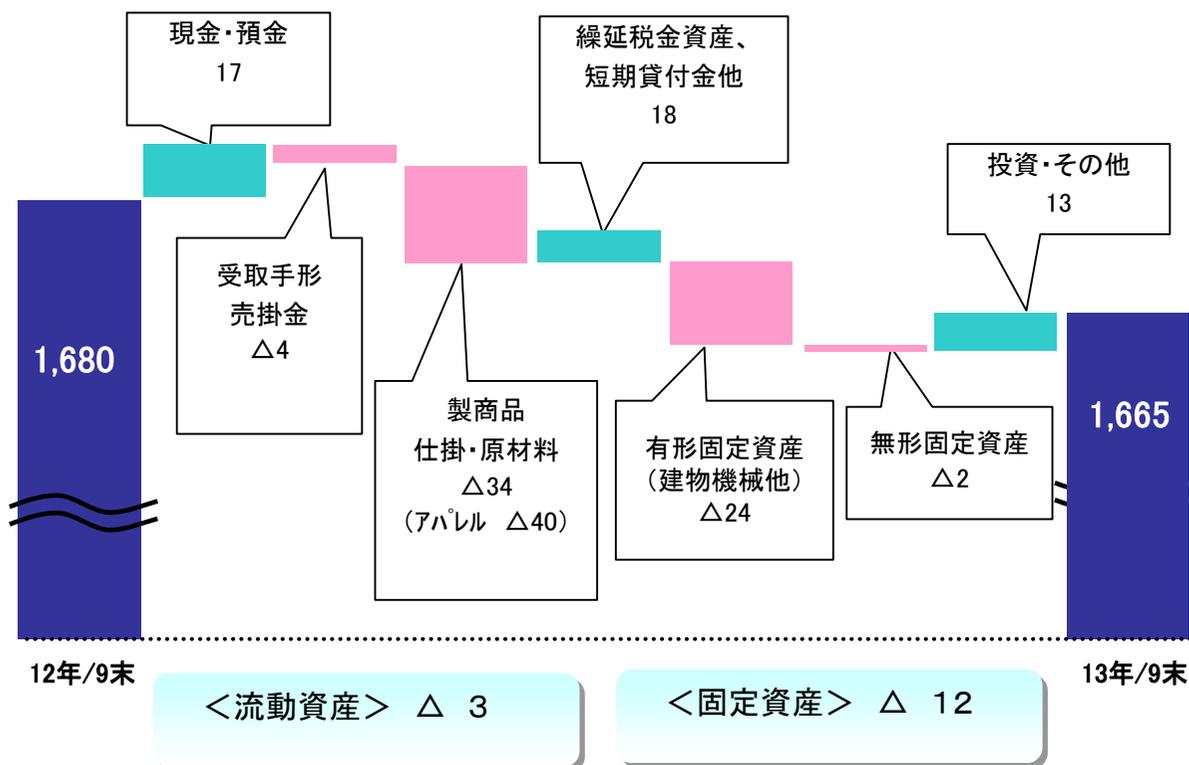
(単位:百万円、%)

	2012年度 (13/3期) 第2四半 期実績	2013年 度 (14/3期) 第2四半 期実績	増減
総資産	167,974	166,472	△1,501
自己資本	105,647	108,772	3,124
自己資本比率	62.9%	65.3%	2.4%
有利子負債	37,550	30,958	△6,591
BPS(円)	551.5	567.5	16.0

資産増減内容

15億円減少

(単位:億円)



2-1 電子部品分野の経過と戦略

市況

- ① Windows 8が不発に終わり、改善OS Windows 8.1をリリース(10月)
- ② ノートパソコンへのタッチパネル搭載は想定を下回る
- ③ 中国スマホでiPhoneを上回る高機能・高性能機種が出現

上期

実績

- ・PCAP … 海外及び国内主力パソコンメーカーに中大型PCAPを拡販
- ・フィルム外販 … 半製品・フィルム販売が好調
- ・レノボより優秀サプライヤー賞を受賞
(“Lenovo 2013 Supplier Conference” テクノロジー部門で受賞)

下期

以降

<市場>

- ・新方式(メタルメッシュ)のタッチパネルを搭載した新商品が発売される予定
- ・中国市場でもタッチパネル仕様が高度化(狭配線やITOフィルムの見栄え)

<当社>

- ・AFP (All Film PCAP、従来品より軽量・薄型・低コスト)のユーザー開拓
- ・半製品およびフィルム販売の売上ウエイトアップ
→ 川上工程の能力増強

2-2 プラスチックフィルム分野の経過と戦略

市況

- ① 異常気象(猛暑・豪雨)により、食品業界に明暗
- ② 円安と原油価格上昇で原材料費が高騰
- ③ スマホ価格下落で、半導体関連は値下げ要求が強まる

上期 実績

- ・飲料分野 …… 猛暑のため、コールド飲料用が好調
- ・食品分野 …… 豪雨のため、野菜向け防曇フィルムは苦戦
- ・生活用品 …… トイレタリーなどへ収縮ラベルの使用が伸長
- ・工業用途 …… 半導体関連は価格競争激化の中、新商品発売で回復

下期 以降

- ・飲料分野 …… 暑さが長引いた影響でホット飲料の立上り遅れ
- ・食品分野 …… 天候による野菜不作の影響で包装野菜の数量減少懸念
- ・生活用品 …… 詰替えパウチ、バルーン用途で伸長の見込み
- ・工業用途 …… 半導体市場は価格下落で苦戦見込み
壁紙は消費増税前の需要増に期待

2-3 エンプラ・メディカル分野の経過と戦略

エンプラ

市況

- ① OA印刷分野は、複写機の販売台数持ち直すも、印刷枚数抑制で消耗品低調
- ② OAロール市場は新興メーカー等が入り乱れて競争が激化
- ③ 一般産業用途は、スマートフォン・タブレット向け半導体需要が好調

上期 実績

- ・カラー複写機用中間転写ベルト …… 消耗品用途の低迷で引き続き苦戦
- ・OAロール用フッ素樹脂チューブ …… ホリウムゾーンでの競争激化による単価ダウン
- ・一般産業用部材 …… 半導体関連部材が伸長

下期 以降

- ・カラー複写機用中間転写ベルト：コストダウンにより価格競争力強化
- ・OAロール用フッ素樹脂チューブ：国内外部材メーカーへの販路拡大

メディカル

上期

- ・中国、欧州販売が順調に推移

下期 以降

- ・欧米の新規販路開拓と中国工場の立上げ（2014年）

2-4 インナーウェア分野の経過と戦略

市況

- ① シニア向け機能商品の展開拡大
- ② 合繊から天然素材への回帰
- ③ 円安や海外労務費高騰による輸入品コスト上昇

上期 実績

- ・ベーシック …… 引き続き低迷も、PBとの比較購買で下げ止まり傾向
- ・シーズン …… 綿混商品は堅調だが、流通のPB強化策に押され苦戦
- ・BODYWILD …… ターゲットの見直しによる「かっこよさ」の追求で好調

下期 以降

<13秋冬期>

- ・BODYWILD …… デザイン刷新で店頭訴求力向上
(『成宮寛貴』をプロモーションキャラクター起用)
- ・キレイラボ …… オトナ思春期『肌ストレス解放計画』スタート
(テレビCM、1万人モニターキャンペーン他)

<14春夏期>

- ・大型ブランドのデビュー
 - ①新YG …… デビューにあわせた大型販促(CM等)の実施
 - ②新Tuche …… 高感度のファンデーション&インナー展開

2-5 レッグウェア分野の経過と戦略

市況

- ① プレーンストッキングのトレンドが継続
- ② 新トレンドのレギパンがヒット、フットカバーも好調
- ③ 円安や海外労務費高騰による輸入品コスト上昇

上期 実績

- ・プレーンストッキング (Mirica・SABRINA他) は引き続き好調
- ・円安や海外労務費高騰の影響により採算性が悪化
- ・インドネシアでソックス生産能力増強、
⇒ 新合弁会社 (PT.RICKY GUNZE) 稼働開始 (9月)

下期 以降

〈13秋冬期〉

- ① 秋冬機能の充実: おしゃれさと防寒性をあわせ持つ
「スマート裏起毛」「短繊維ウオーム素材」
- ② ボーダレス市場の開拓 (アウター、スポーツ、ルーム市場)

〈14春夏期〉

- ① 大型ブランド「SABRINA」リニューアル
- ② 新トレンド「レギパン」の増販
- ③ 紳士用フットカバー新規売場獲得

2-6 ライフクリエイト事業の経過と戦略

市況

- ① 電力料金値上げ・エネルギーコスト上昇
- ② スポーツ(ランニング)や健康志向の高まり

上期 実績

- 〈不動産関連〉
 - ・「つかしん にしまち」リニューアル効果により好調
 - ・新規テナント導入および空区画リーシング推進
- 〈省エネ事業〉
 - ・中国省エネビジネスの本格開始
- 〈スポーツクラブ〉
 - ・効果測定イベント(体脂肪燃焼キャンペーン)により会員数が伸び堅調

下期 以降

- 不動産関連
 - ・「前橋リリカ」空区画の早期テナントリーシング推進
 - ・遊休地の活用 新案件・・・津山(2月竣工)・加賀(3月竣工)
- 省エネ事業
 - ・節電・省エネ需要を背景にESCO等環境ビジネスの拡大
 - ・太陽光発電事業の売電開始予定(12月 宇都宮・1月 江原・2月 福島)
 - ・中国省エネビジネスの受注拡大
- スポーツクラブ・・・新規顧客の獲得と効率運営の実施

3-1 通期業績予想

(単位:百万円/%)

	2012年度 (13/3期) 実績	2013年度 (14/3期) 計画	対前年		利益率	
			増減額	増減率	2012 年度	2013 年度
売上高	132,373	139,000	6,627	5.0	-	-
営業利益	1,710	3,000	1,290	75.4	1.3	2.2
経常利益	2,328	2,900	572	24.6	1.8	2.1
当期純利益	-1,161	1,500	2,661	-	-	1.1

通期予想に関しては、平成25年5月14日の業績予想の公表数値を変更しておりません。

3-2 セグメント別 売上高・営業利益

(単位:百万円/%)

	売上高				営業利益				営業利益率	
	2012年度 (13/3期) 実績	2013年度 (14/3期) 計画	対前年		2012年度 (13/3期) 実績	2013年度 (14/3期) 計画	対前年		2012 年度	2013 年度
			増減額	増減率			増減額	増減率		
機能ソリューション	49,538	56,900	7,362	14.9	2,813	4,550	1,737	61.7	5.7	8.0
アパレル	69,991	69,100	△ 891	△ 1.3	1,393	550	△ 843	△ 60.5	2.0	0.8
ライフクリエイト	13,867	14,000	133	1.0	1,044	1,200	156	14.9	7.5	8.6
セグメント計	133,397	140,000	6,603	4.9	5,251	6,300	1,049	20.0	3.9	4.5
全社・消去	-1,024	-1,000	24		-3,540	-3,300	240		-	
合計	132,373	139,000	6,627	5.0	1,710	3,000	1,290	75.4	1.3	2.2

上期の実績 及び 下期の見通しからセグメント間の調整を行いました
 が合計額は変更しておりません。

本資料のうち、業績見通し等に記載されている内容は、現在入手可能な情報による判断に基づいたものであり、記載された将来の計画数値、施策を保証するものではありません。

本資料は、平成25年11月5日に公表した「平成26年3月期 第2四半期決算短信」に基づくものです。